



## 「動く臓器がとにかく可愛い」～九州大学大学院消化器・総合外科 (第2外科) 江端由穂先生～



医師のキャリアが多様化するなか、オンコロジストとしての道をなぜ選んだのか――。九州大学大学院消化器・総合外科 (第2外科) の江端由穂先生に話を聞きました。

### 原点は「病気の妹」と「届かない医療」

――医師を志したきっかけを教えてください。

「妹が病気がちだったことが最初のきっかけです。長崎・五島列島の出身で、地元には診療所が一つあるだけ。中学、高校と成長するにつれ、地域では専門性の高い医療が届きにくいという現実に気づきました。そんな環境でも、子どもたちや地域の人たちの力になれる医療に関わりたいと考えました」

「進学した長崎大では、部活動で剣道に打ち込みました。臨床実習が始まった5～6年生の頃に初めて手術を見たとき、『なんてカッコいいんだろう』と思って。小児医療を含めた『手術で治す』道に惹かれて外科系を目指すようになりました」



長崎大学医学部剣道部の集合写真 (写真手前左端)

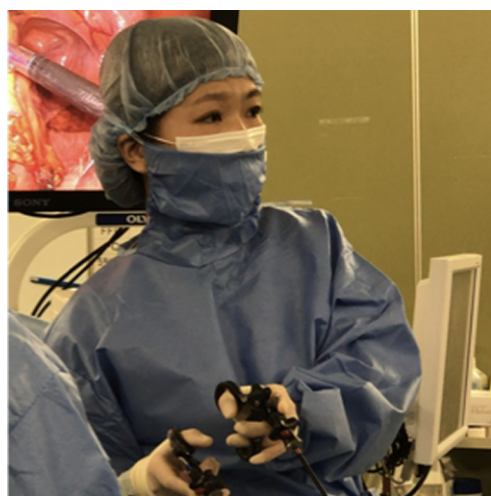
## 無力さに直面、初期研修で得た覚悟

——初期研修先はどうやって決めたのですか？

「九州各地の病院を見学しましたが、最終的には『地域貢献したい』という思いから、地元の上五島病院を選びました。1学年に研修医は私ひとり。看護師さんと一緒に毎朝採血をしたり、救急対応のファーストタッチを任されたり、濃密な日々でした」

「一方、救急車の対応中に自分の無力さに直面し、診療が落ち着いたあと、すみっこの暗がり一人で泣いたことがあります。今では笑い話ですが、あの時の悔しさは今でも覚えています」

## 消化器外科へ——動く臓器に惹かれて



九州医療センターで手術をする江端先生(2021年)

——その後、九州大学大学院消化器・総合外科 (第2外科) に入局を決めた経緯を教えてください。

「九州での人脈づくりや技術向上を考えて入局を決めました。実はこの教室、すごく部活っぽいです。同じ釜の飯を食うような文化があって、手術が終わったら皆で『お疲れさま！』って言い合う。どこか剣道部の雰囲気にも似ていて、みんなで頑張る感じが肌に合っていますね」

「第2外科では肝臓、血管、呼吸器などさまざまな分野に触れる機会があり、移植された肝臓が体の中でピンクに戻る瞬間はとても感動的でした。動く臓器が大好きで、マニアックかもしれませんが、ゆるやかで規則的な腸の動きに心惹かれます」

「特に好きなのが腸です。大腸がんは男女問わず罹患率が高いですし、消化器外科を専門に頑張りたいと考えました」

## 研究と育児の両立、がん専門医としての未来



㊤子供と研究カンファに参加 ㊦大学院での実験の様子 (一部画像処理をしています)

——現在は大学院にも在籍されていますね。

「将来的に博士号が必要になるかもしれないと先輩に勧められ、進学を決めました。研究の計画を立てて実験が成功したときの達成感、英語論文への抵抗感がなくなったことなど意外と楽しいです(笑)。ベッドフリーで時間に融通が利く分、手術動画を見たり、論文を読んだり、自分のペースで成長できている実感があります」

——子育てとの両立についてもお聞かせください。

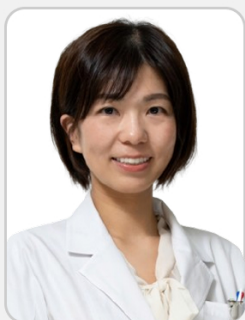
「今、子どもは生後1歳未満で、育児真っ最中です。日々バタバタしていますが、家族や同期、先輩、後輩の支えがあって、やりくりができています。研究も育児もどちらも諦めたくはないですね」

## がん治療の“今”にふれる学会の価値

——自身の見識を深めるために大切にしていることは何ですか。

「学会活動などで知識の幅や人脈を広げることです。今は日本外科学会、日本消化器外科学会、日本癌治療学会 (JSCO) などに所属しています。JSCOは外科以外にも泌尿器科や婦人科などさまざまな分野の腫瘍医が集まっていて、最新情報に触れることができます。自分の世界を広げてくれる貴重な場となっています」

## プロフィール



九州大学大学院消化器・総合外科 (第2外科)  
江端 由穂先生 (えばた ゆうほ)

長崎県出身、2017年長崎大卒。長崎・上五島病院での初期研修、九州医療センター専攻医などを経験。日本外科学会専門医、日本がん治療認定医。趣味は、体を動かすこと。剣道やキックボクシングのほか、フル馬拉ソンの参加経験も。出産前は海外旅行に良く行っていた。

## 日本癌治療学会について

日本癌治療学会に入会を希望される方は、下記より入会手順をご確認ください。

[>>「日本癌治療学会」入会のご案内はこちら](#)



一般社団法人

日本癌治療学会

Japan Society of Clinical Oncology

## 学会入会のメリットは？

以下のような学会入会特典がございます。

### ①学術集会での研究発表

本学会学術集会に演題の応募ができ研究成果を発表することができます。

※筆頭演者は会員である必要がございますが、共同演者は会員である必要はございません。ただし、会長により招請された方、また、海外からの応募者、医師・歯科医師以外のメディカルスタッフ、学生の方は、この限りではありませんので非会員の方であってもご登録可能です。

## ②学術集会への参加

会員は学術集会へは会員価格で参加することができます。

## ③機関誌の無料閲覧

IJCOおよびICCJの全文を無料で閲覧可能です。

## ④会員限定の情報提供

会員専用ページ「myがんち」に登録したメールアドレスにお送りするメルマガを通じてがん治療についての最新情報が得られます。また、会員専用ページ「myがんち」にてオンライン版会員名簿サービスで会員の検索ができます。

## ⑤学会提携クレジットカードの発行

このカードを利用することにより、本学会年会費をカード決済口座から、手数料無料で引き落とすことができます。

## ⑥ネットワークの構築

国内外の専門家との交流を深め、臨床や研究の発展につなげる機会を提供いたします。